「知行合一」で行動

長野産業人クラブ

概　要

◇２０１０年（平成22）12月７日設立　会員数　２４人
◇事務局所在地＝長野市居町90の１、パークタウン90―507
（日刊工業新聞社長野支局内）
◇電話＝０２６・２４１・５０１０

ビジネスチャンス拡大

台湾視察ツアー　現地企業と交流

7月に開いた定時総会

長野産業人クラブ（太田哲郎会長＝オリオン機械社長）は、長野県北部と東部を中心とした経営者や若手後継者らを会員に２０１０年12月に発足した。会員の平均年齢は約50歳だが、30―40代の若手経営者が半数を占める。会員企業の業種も産業機械、金属加工、ファクトリーオートメーション装置、電気機器、ＯＡ機器など多岐にわたる。中小製造業を中心とした交流の場を提供することにより、ネットワークを通じた相互研さんやビジネス交流を進めている。

７月２日に長野市のホテルで開いた２０１３年度定時総会では、外務省広報文化外交戦略課首席事務官の岸守一氏を講師に迎え、「日本の広報文化外交―クールジャパン戦略と日本ブランド発信」と題した記念講演会を開いた。これまでは大学教授や企業経営者の講演会が多く、政府の若手現役官僚に講演してもらうのは初めて。産業人クラブ会員企業以外からも多数聴講者が集まった。

岸守氏は政府のクールジャパン戦略や日本ブランド発信の取り組みを紹介するとともに、現在担当する広報文化外交戦略の具体的な施策内容を説明した。また中小企業支援の具体例として春日秀之長野産業人クラブ副会長が社長を務めるＢＬＡＮＣ　ＢＩＪＯＵ（ブラン・ビジュ）のブランド展開なども紹介した。

２０１２年３月に実施した台湾視察ツアーには、長野だけではなく東京、栃木の各産業人クラブ会員が参加した。３泊４日で現地企業や日系企業、行政などを訪れた。半導体や液晶ディスプレー向けの製造装置の加工などの見学や、台湾の行政最高機関である行政院と、経済産業省に相当する経済部の幹部を台北市内のホテルに招いたセミナーも開いた。日本企業誘致や台湾の中小企業連携を目的とした「台日架け橋プロジェクト」の説明を受けるとともに、台湾の精密機械産業の現状報告などもあった。セミナー後には台湾の中小企業経営者を交えた交流会も開いた。

このほか、半導体や電子機器産業などが集積する新竹科学工業園区も視察した。また堀場製作所の台湾現地法人である台湾堀場（新竹県竹北市）にも訪れ、日本企業の台湾進出についてのアドバイスも受けた。

長野県は日本列島のほぼ中央に位置し、東京からも名古屋からも２００キロメートル圏内にある。日本海側へのアクセスも容易。長野産業人クラブは、まじめで議論好きな「信州人」経営者が集う場を提供し、相互研さんを通じて新たなビジネスチャンスの拡大につなげていくことを目標に、活発なクラブ活動を展開する。

hide kasuga 1896社長　春日　秀之 氏

―７月の長野産業人クラブの総会は、外務省広報文化外交戦略課の岸守一首席事務官の講演を、春日副会長の紹介で開きました。

「長野の企業が自社の技術や製品を世界に伝えるのは非常に難しいですが、私が社長を務めるＢＬＡＮＣ　ＢＩＪＯＵ（ブラン・ビジュ）は外務省などの支援を受けて世界に情報発信しています。これは非常に珍しいケースです。今回、外務省のクールジャパン戦略と日本ブランド発信の

副会長インタビュー

―２０１２年３月の長野産業人クラブの台湾視察ツアーは、市川副会長の発案でした。

「製品の価格競争が激化する中で、中国や韓国、台湾製が市場を広げていました。日本だけで製造しても勝てない。勝つためには調達から製造までを海外でやる必要があり、そうした状況の中で台湾への現地視察に興味があることを伝え、産業人クラブのツアーを企画してもらいました」

―自社単独での視察との違いは。

「独自では視察範囲が限られてしまいます。日刊工業新聞社が事務局の産業人クラブの主催により、さまざまな企業を訪問でき現地の行政関係者とも深く情報交換ができました。視察の成果が３月の台湾支店設立や、現地ローカル企業との連携につながっています」

不二越機械工業専務　市川　大造 氏

―産業人クラブの活動など異業種交流のメリットは。

「まずは人脈づくり。さらに業界の環境が変化する中で、これから成長する業界を知ることも異業種交流の意義だと考えます。例えば医療・福祉関連産業が今後さらに発展するとなれば、交流を通じて連携することも可能です」

―これから企業には何が求められますか。

「技術も大切だが、技術だけでもだめです。どこに付加価値を求めるかが一番重要です。今はアジア圏との関係で『価格』が一つのキーワードになっています。ダーウィンの言葉ではないが、強い企業が生き残るのではなく、変化に対応できる企業が生き残る。もっと知恵を絞り出して、時代の環境に合ったビジネスモデルを作り上げることが大切です」

「オール長野」で世界に発信

で、モノづくりの特色を世界に発信できればいいと考えています」

―企業にとって異業種交流の重要性は。

「業種によって川上から川一環として日本企業の支援事例を説明してもらい、会員企業などに非常に参考になったと思います。今後は個々の企業だけでなく『オール長野』

ることが重要です。これからは事業家が自身で市場を作る時代。その時にどこと組むかを含めて異業種交流は今まで以上に重要になるでしょう」

―経済環境が変化する中で下までありますが、どこであれ全体を把握する必要があります。さまざまな業種とコミュニケーションを取りながら、企業独自の戦略を構築する。

「自社の強みを明確にして専門性を高め、世界にアピールできるような状況を自ら作り出していかねばなりません。経済や産業が伸びている国は官民一体で取り組んでいます。日本はもっと官民でビジョンを共有してそれぞれの役割を果たす必要があります。また国によっても強みは違うので、さらに国際連携を広げていくことが大切です」

変化への対応力が大切

―これから企業には何が求められ、企業はどう進むべきでしょうか。

「自社の強みを明確にして専門性を高め、世界にアピールできるような状況を自ら作り出していかねばなりません。経済や産業が伸びている国は官民一体で取り組んでいます。日本はもっと官民でビジョンを共有してそれぞれの役割を果たす必要があります。また国によっても強みは違うので、さらに国際連携を広げていくことが大切です」

特集・挑戦する日本の経営者たち

オープンマインドで交流

太田　哲郎 氏

（オリオン機械社長）

―長野県産業の特色をどう捉えていますか。

「独自色を出す個性的な企業が多いことが一つの特徴です。自社でユニークな商品開発に取り組み、開発型企業としてブランドを持つ企業が、他県に比べて長野は圧倒的に多いと思います。さらに長野県人のまじめな気質もあります。技術系の思考で一つのことを追求し探求する。研究開発型企業が多いのは長野の気質に合っているからでしょう。また、長野は昔、養蚕が盛んでした。製糸産業が衰退した後、繭を積む手先の器用さを生かした電子部品産業が発展しました。佐久間象山が生まれた土地柄が、革新的な製品や技術を生み出す土壌となっていると思います」

―現在の経済環境の現状をどう見ていますか。

「政府の経済政策への期待は非常に高いものがあります。設備投資や個人投資は、もうこれ以上悪くなりようがない。後はよくなっていくだけではないでしょうか。これだけ長期にデフレが続いている国はありません。民間も政府と一緒になって成果を上げていくことが求められます。政府頼みだけでもダメ、民間だけでもダメ。政府と民間が一緒に歩調を合わせることが重要です。口だけの評論家はもう不要です。『知行合一』の精神で実行し、行動に移すことが大切です」

―産業人クラブの活動をはじめとする異業種交流について、どう考えますか。

「中小企業の場合、すべてを開示できる経営者のオープンマインドです。プライドが高いことは悪くありませんが、それが災いしている面もあるのでは。トップ自らが欠けているところを謙虚にさらけ出す。よきパートナーを見つけるには自分が変わらなければ。失敗事例を共有することも大切。失敗から学ぶことが経営の鉄則です。企業同士をつなぐコーディネーターの役割も非常に重要です」

―産業人クラブの今後について抱負を。

「産業人クラブ同士の交流がもっと活発になればいいと思います。その交流も一度で終わりではなく何回も続ける。それぞれのクラブ会員が持つ課題を出し合ってディスカッションすることも、本当の議論を深めるには重要です」

とが求められます。政府頼みだけでもダメ、民間だけでもダメ。政府と民間が一緒に歩調を合わせることが重要です。口だけの評論家はもう不要です。『知行合一』の精神で実行し、行動に移すことが大切です」

―産業人クラブの活動をはじめとする異業種交流について、どう考えますか。

「中小企業の場合、すべてを開示できる経営者のオープンマインドです。プライドが高いことは悪くありませんが、それが災いしている面もあるのでは。トップ自らが欠けているところを謙虚にさらけ出す。よきパートナーを見つけるには自分が変わらなければ。失敗事例を共有することも大切。失敗から学ぶことが経営の鉄則です。企業同士をつなぐコーディネーターの役割も非常に重要です」

―産業人クラブの今後について抱負を。

「産業人クラブ同士の交流がもっと活発になればいいと思います。その交流も一度で終わりではなく何回も続ける。それぞれのクラブ会員が持つ課題を出し合ってディスカッションすることも、本当の議論を深めるには重要です」

会長インタビュー

共連れを確実に防ぐ、
とても頑丈であるだけでなく安全面にも十分配慮しておりますので、小さなお子様のご利用も安心です。
TPG トライポッド　FTG フルターンゲート
国産の回転式ゲートを求めるお客様が非常に多かったことから誕生した『純国産セキュリティゲート』です。メンテナンスなどアフターフォローが充実していますので、運用も安心です。
安心の純国産製品。
Halcon　日本ハルコン株式会社　長野県佐久市三河田　TEL.0267-63-1151　http://www.n-halcon.com

技術が生みだす、地球への贈り物。
果てしなく続く人類の夢…。その夢ひとつひとつを現実のものとするために、不二越機械工業は、常に未踏のフィールドへ、果敢な挑戦を続けています。
●半導体加工装置の専門メーカー
不二越機械工業株式会社
長野市松代町清野1650 TEL026-261-2000（代表） FAX026-261-2100

「Science & Art」により新たな価値を創造する
NiKKi Fron®
Since 1896
■長野　■滋賀　■東京　■タイ
www.nikkifron.com

精密プラスチック金型　設計・製作
スーパーエンプラ金型　成形加工
得意な金型
◆焼入金型（SKD－11　相当）
◆ミニランナー金型（サブホットランナー）
◆ランナーレス金型（ホットランナー）
◆異色・異材　２色成形金型
得意な樹脂
◆PA　GF含有　◆PBT　GF含有
◆PPS　GF含有　◆PC　GF含有
◆PEI　GF含有　◆POM　GF含有
◆LCP　GF含有
◆TPE（熱可塑性エラストマー）
ISO9001（2008年版）　ISO14001（2004年版）　認証取得
http://www.hokuto-seikou.co.jp
精密プラスチック金型の設計・製作と成形
株式会社　ホクト精工
本　社／長野県千曲市大字羽尾1562
TEL（026）276－2464㈹　FAX（026）276－5647
E-mail　k_takemori@hokuto-seikou.co.jp
上山田成形工場／長野県千曲市大字新山1054－1
TEL（026）276－3838　FAX（026）276－1688

Made in Japan
この国の未来を担う
若き力
ものづくりは人づくり、人づくりは国づくり。
オリオン機械株式会社
感動を呼ぶ製品をめざして
ORION
インバータ搭載
省エネ真空ポンプ・ブロワ
インバータベーンレスポンプ
第24回 中小企業優秀新技術・新製品賞
優良賞受賞
主催：公益財団法人りそな中小企業振興財団
：日刊工業新聞社
KCE190A
KCE380A
長野県須坂市大字幸高246　〒382-8502
TEL(026)245-1230　FAX(026)245-5424
http://www.orionkikai.co.jp